

ANNUAL REPORT 2006



Contents

会社概要 / 組織	01
株式の状況 / 経営方針	02
コーポレート・ガバナンス / 事業等のリスク	03
経営成績 / 財政状態	04
経営データ	05
業績	07
事業所 / 連結子会社	10

会社概要 (2006年6月29日現在)

商号

住友精化株式会社
Sumitomo Seika Chemicals Company, Limited

本社

[大阪] 〒541-0041 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
(住友ビル)
TEL:06-6220-8508 FAX:06-6220-8541
[東京] 〒102-0073 東京都千代田区九段北一丁目13番5号
(日本地所第1ビル)
TEL:03-3230-8527 FAX:03-3230-8520

設立

1944(昭和19)年7月20日

主な事業内容

精密化学品、基礎化学品、ポリマー製品、各種ガス製品、酸素・窒素・水素等のガス発生装置、各種機器

資本金

9,698百万円

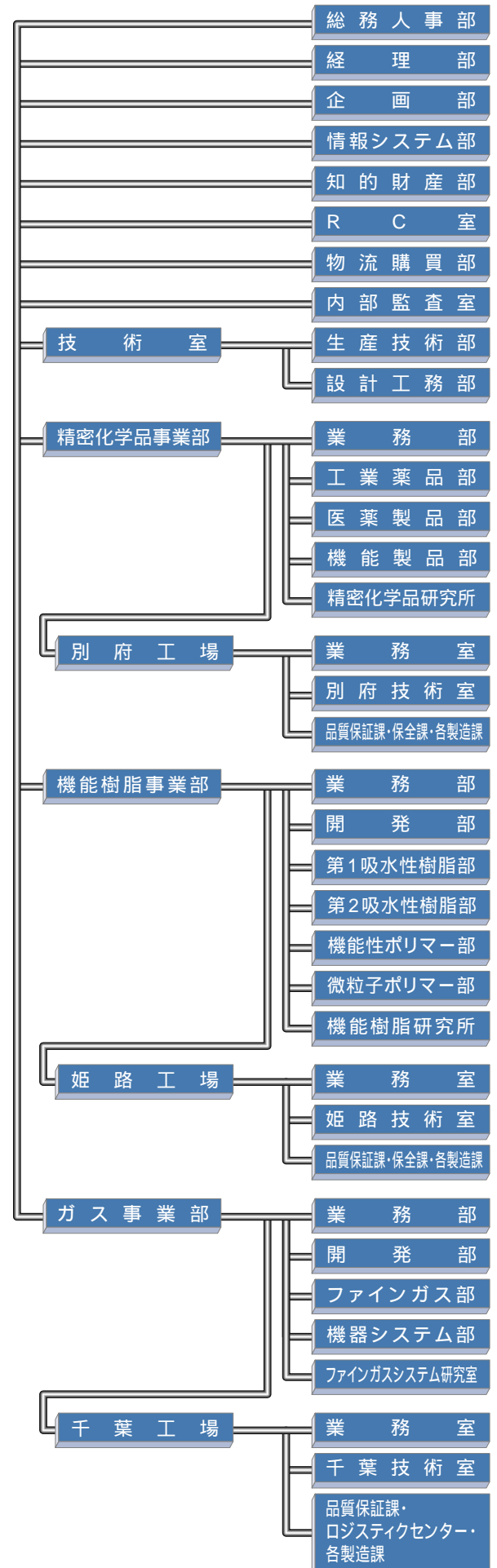
従業員 (2006年3月31日現在)

従業員 977人(連結ベース)

役員

社長	園田隆一
専務取締役 (技術室長)	土屋正孝
専務取締役 (機能樹脂事業部長)	宇野優
常務取締役 (精密化学品事業部長)	多田和弘
取締役 (社外取締役)	香西昭夫
取締役 (総務人事部長)	本條拓
取締役 (ガス事業部長)	小笠原譲二
取締役 (経理部長兼企画部長)	原昭一
取締役 (機能樹脂事業部姫路工場長)	足立巳津二
監査役(常勤)	鳥居孝
監査役	富田豊
監査役 (社外監査役)	二宮博昭
監査役 (社外監査役)	太田喜世士

組織 (2006年6月29日現在)



発行済株式総数

69,864千株

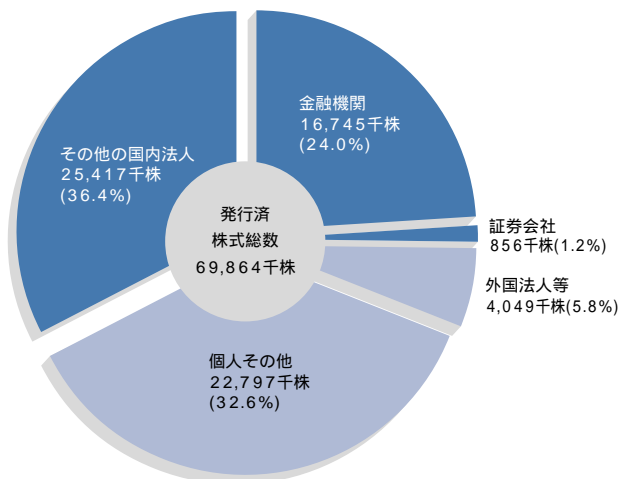
株主数

8,551人

大株主

	(千株)	(%)
住友化学株式会社	20,978	30.03
株式会社三井住友銀行	2,800	4.01
住友信託銀行株式会社	2,417	3.46
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー505019	2,383	3.41
三井住友海上火災保険株式会社	1,600	2.29
住友生命保険相互会社	1,551	2.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,495	2.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,381	1.98
多木化学株式会社	1,032	1.48
住友精化社員持株会	913	1.31

株主構成



経営の基本方針

当社グループは、社会との共存共栄を基本方針とし、化学の分野で世界に通じる独創的な技術を開発し、特色のある質の高い製品を国内外へ供給することにより、社会の発展に貢献することを基本方針としております。

利益配分に関する基本方針

当社は、利益の配分に関しては、各期の収益状況をベースに、安定的な配当実施および今後の事業展開に備えるための内部留保などを勘案して決定することを基本方針としております。内部留保資金については、業績の向上と経営基盤の強化につながる生産体制拡充、コスト競争力の強化および市場ニーズに対応した製品の研究開発に投資してまいります。なお、中間配当金(3円)を含めた当期配当金は、1株当たり8円となっております。

中長期的な経営戦略と目標とする経営指標

当社グループは、収益性重視を基本としながら、企業規模拡大の基盤構築をはかるため、次の課題に取り組んでおります。

- (1) 持続的な成長基盤の構築
- (2) 次世代コア事業の育成
- (3) グロ-バル展開の体制作り
- (4) 効率的な生産体制の確立

また、資本効率と収益性を重視し、連結ROE(株主資本利益率)と連結ROA(総資産利益率)の向上をめざした経営管理を行っております。

対処すべき課題

当社グループは、事業の強化・拡大に取り組み、新製品の早期事業化をはかるとともに、効率的な生産体制を確立し、成長軌道を実確なものとしてまいります。

化学品事業では、精密化学品部門は、医薬中間体や表示材料・半導体関連部材などの成長分野に、当社の得意技術である有機硫黄化合物などを拡充していくことにより、事業の強化をめざしてまいります。機能樹脂部門では、高吸水性樹脂は事業規模の一層の拡大をはかるとともに、製法改良および特殊グレードの開発等により、製品構成の幅を広げて競争力の強化をはかってまいります。また、水溶性・微粒子ポリマ-については、当社の得意技術をブラッシュアップし、特色ある製品の開発を進めてまいります。

ガス・エンジニアリング事業では、ガス部門は、医療用ガス、ケミカルガスおよび標準ガスについては、これまでに培われた技術を応用し、新たな用途開発をはかってまいります。また、半導体用ガスは、国内およびアジアにおける事業の拡大をはかり、化学メ-カ-としての技術を活かして新規半導体用ガスの開発を進めてまいります。エンジニアリング部門では、水素社会の到来を見据えた新エネルギー-関連機器など、開発型の事業展開をはかってまいります。また、ガス発生装置については、海外の需要開拓等を積極的に進めてまいります。

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社グループでは、ステークホルダーの負託に応えて、強固な事業基盤を築き、社会の発展に貢献することを経営方針として掲げています。コーポレート・ガバナンスに関しては、ステークホルダーの揺るがぬ信頼を得るため、効率的かつ公正な経営を執行し、その経過および結果を迅速・適確に開示することを基本方針としています。

内部統制システム整備の基本方針

当社グループは、経営の基本方針に基づき、法令等の遵守（コンプライアンス）、品質保証と環境安全を重点課題として事業活動を行ってまいります。これら課題の達成のために、さらに内部統制システムを整備してまいります。

事業等のリスク

当社グループの経営成績、財務状況等に影響を及ぼす可能性があるリスクのうち重要なものには、以下のようなものがあり、投資家の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項と考えております。ただし、当社グループに関するすべてのリスクを網羅したものではありません。

(1) 原材料等の価格変動について

当社グループが購入している原料、燃料、資材等の仕入価格は、原油、ナフサなどの需給バランスや市況により変動するものがあります。これらの仕入価格が上昇した場合、販売価格に完全に転嫁できない場合があり、仕入価格の変動が当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(2) 為替レートの変動について

当社グループは、外国通貨建てで製品を輸出するとともに原料等を輸入しておりますが、輸出高は輸入高を上回っております。そのため、円高は輸出手取額の減少が輸入支払額の減少を上回ることになるため、円高の進行は当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(3) 製品の品質に係わるものについて

当社グループは、厳格な品質管理基準に従って各種の製品を製造しておりますが、すべての製品について欠陥がなく、将来に亘ってリコールが発生しないという保証はありません。また、製造物賠償責任保険に加入しておりますが、この保険が最終的に負担する賠償額の全額をカバーできる保証もありません。従って、製品の欠陥が、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(4) 競争について

当社グループは、事業を展開する市場において激しい競争に直面しております。かかる競争状態から、製品売価の下落や販売量の減少につながる恐れがあり、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(5) 災害や停電などによる影響について

当社グループは、すべての生産設備について定期的に災害防止検査と点検整備を行っておりますが、発生する災害、停電などにより長期間操業を中断する事態が発生した場合、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(6) 知的財産の保護について

当社グループの事業展開にとって知的財産の保護は極めて重要であり、知的財産保護のための体制を整備しておりますが、知的財産権が違法に侵害されることによって、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(7) 環境問題について

当社グループは、国内および海外の環境基準を満たすことを求められておりますが、現行の法律や規制が当社グループの業績に影響を与えることはないと考えております。ただし、将来の法的規制が当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(8) カントリーリスクについて

当社グループは、日本国内のほか、シンガポール、台湾等で事業活動を行っておりますが、これらの海外拠点では政治的および社会的なリスクが存在し、これらが顕在化した場合には当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、原油価格の高騰はありましたが、企業収益の改善や設備投資の増加などを背景に景気は緩やかに回復してまいりました。このような情勢のもとで、当社グループは、主力製品の拡販と原材料価格の高騰に伴う製品価格の是正に努めるとともに、生産効率の向上ならびに合理化を推進し、業績の向上に注力してまいりました。

その結果、当連結会計年度における当社グループの業績につきましては、売上高は 46,737百万円(前期比12.0%増)、営業利益は 4,502百万円(前期比69.5%増)、経常利益は 4,401百万円(前期比68.7%増)、当期純利益は 2,208百万円(前期比43.1%増)となりました。

また、当社単独では、売上高は 38,864百万円(前期比11.9%増)、営業利益は 3,672百万円(前期比50.5%増)、経常利益は 3,687百万円(前期比52.2%増)、当期純利益は 1,703百万円(前期比20.6%増)となりました。

事業セグメント別の業績は、次のとおりであります。

化学品事業

精密化学品部門では、工業薬品の出荷は減少いたしました。医薬製剤を中心に輸出が増加いたしましたので、前期を上回る販売となりました。

機能樹脂部門では、高吸水性樹脂の出荷は旺盛な需要に加え、前期に稼働した姫路工場での設備増強が寄与したことなどにより、販売は増加いたしました。また、水溶性ポリマーの販売は前期並みでしたが、微粒子ポリマー等の出荷が増加いたしました。

この結果、当事業の売上高は 35,476百万円(前期比13.9%増)、営業利益は 3,686百万円(前期比92.1%増)となりました。

ガス・エンジニアリング事業

ガス部門では、医療用ガス、ケミカルガスおよび標準ガスはほぼ前期並みの販売でありましたが、半導体用ガスは設備増強に加え、アジアを中心とした堅調な需要により出荷が増加いたしました。

エンジニアリング部門では、ガス発生装置および除害装置の販売は減少いたしました。一般化工機等の販売が増加いたしましたので、ほぼ前期並みの販売となりました。

この結果、当事業の売上高は 11,260百万円(前期比6.4%増)、営業利益は 839百万円(前期比10.7%増)となりました。

財政状態

(単位：百万円)

項目	当期	前期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,510	5,258	252
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,511	1,702	808
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,416	2,602	186
換算差額	20	8	11
現金及び現金同等物の増減額	603	962	358
現金及び現金同等物の期首残高	2,310	1,348	962
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	144		144
現金及び現金同等物の期末残高	3,058	2,310	747

項目	第90期 平成15年3月期	第91期 平成16年3月期	第92期 平成17年3月期	第93期 平成18年3月期
株主資本比率(%)	46.7	50.9	52.6	54.5
時価ベースの株主資本比率(%)	35.5	48.1	48.1	92.1
債務償還年数(年)	3.1	2.0	1.4	1.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ	17.3	25.0	54.3	46.3

(注) 株主資本比率 : 株主資本 / 総資産
 時価ベースの株主資本比率 : 株式時価総額 / 総資産
 債務償還年数 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

貸借対照表(連結)

資産の部 (単位:百万円)	科目	金額
	流動資産	24,124
	現金・預金	3,087
	受取手形・売掛金	14,154
	たな卸資産	5,682
	その他	1,285
	貸倒引当金	86
	固定資産	24,469
	有形固定資産	18,898
	無形固定資産	72
	投資その他の資産	5,499
	資産合計	48,594

負債の部 (単位:百万円)	科目	金額
	流動負債	13,624
	支払手形・買掛金	7,968
	短期借入金	1,496
	その他	4,157
	固定負債	8,028
	長期借入金	4,381
	その他	3,645
	負債合計	21,652
少数株主持分 (単位:百万円)	少数株主持分	480
資本の部 (単位:百万円)	資本金	9,698
	資本剰余金	7,539
	利益剰余金	8,309
	その他有価証券評価差額金	1,086
	為替換算調整勘定	76
	自己株式	247
	資本合計	26,461
	負債・少数株主持分・資本合計	48,594

損益計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	46,737
売上原価	34,180
販売費及び一般管理費	8,055
営業利益	4,502
営業外収益	170
営業外費用	271
経常利益	4,401
特別利益	477
特別損失	1,195
税金等調整前当期純利益	3,684
法人税、住民税及び事業税	1,655
法人税等調整額	288
少数株主利益	108
当期純利益	2,208

剰余金計算書(連結)

資本剰余金の部 (単位:百万円)	科目	金額
	資本剰余金期首残高	7,539
	資本剰余金増加高	
	資本剰余金減少高	
	資本剰余金期末残高	7,539
利益剰余金の部 (単位:百万円)	利益剰余金期首残高	6,742
	利益剰余金増加高	2,208
	利益剰余金減少高	640
	利益剰余金期末残高	8,309

キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,511
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,416
現金及び現金同等物に係る換算差額	20
現金及び現金同等物の増加額	603
現金及び現金同等物の期首残高	2,310
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	144
現金及び現金同等物の期末残高	3,058

貸借対照表(単独)

資産の部 (単位:百万円)	科目	金額
	流動資産	20,605
	現金・預金	2,274
	受取手形・売掛金	11,907
	たな卸資産	4,978
	その他	1,541
	貸倒引当金	98
	固定資産	24,162
	有形固定資産	15,183
	無形固定資産	67
	投資その他の資産	8,912
	資産合計	44,768

負債の部 (単位:百万円)	科目	金額
	流動負債	10,852
	買掛金	6,060
	短期借入金	1,300
	その他	3,491
	固定負債	7,964
	長期借入金	4,381
	退職給付引当金	3,582
	負債合計	18,816
資本の部 (単位:百万円)	資本金	9,698
	資本剰余金	7,539
	利益剰余金	7,940
	利益準備金	773
	任意積立金	4,098
	当期末処分利益	3,068
	その他有価証券評価差額金	1,021
	自己株式	247
	資本合計	25,951
	負債・資本合計	44,768

損益計算書(単独)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	38,864
売上原価	27,996
販売費及び一般管理費	7,195
営業利益	3,672
営業外収益	246
営業外費用	231
経常利益	3,687
特別利益	477
特別損失	1,194
税引前当期純利益	2,970
法人税、住民税及び事業税	1,554
法人税等調整額	287
当期純利益	1,703
前期繰越利益	1,572
中間配当額	206
当期末処分利益	3,068

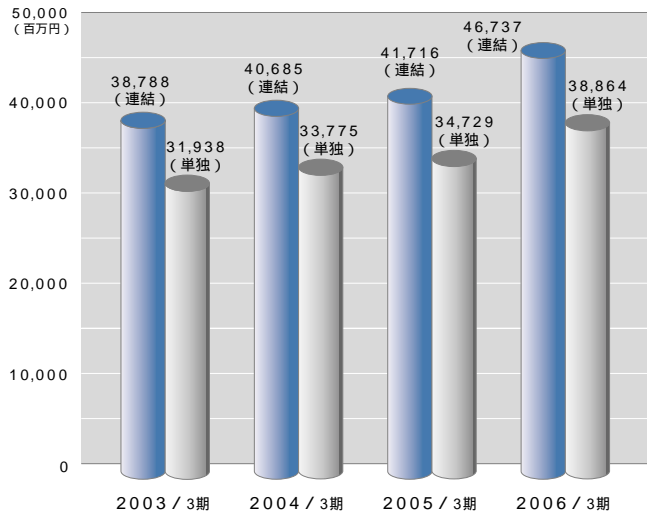
利益処分

(単位:百万円)

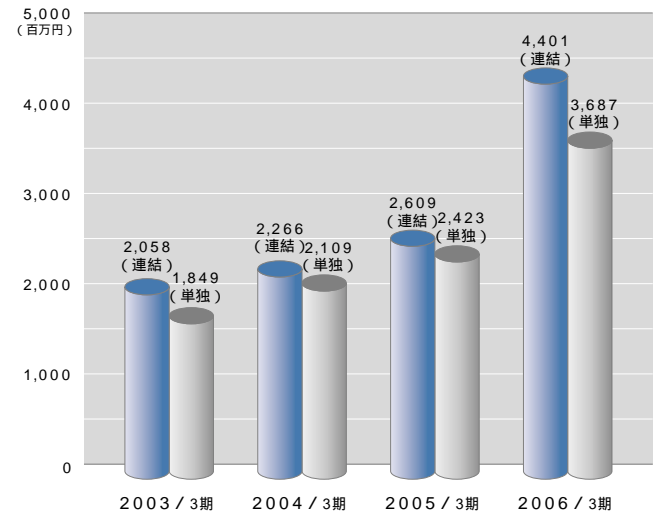
科目	金額
当期末処分利益	3,068
特別償却準備金取崩額	8
固定資産圧縮積立金取崩額	2
計	3,079
これを次のとおり処分する	
利益配当金(1株につき5円)	344
取締役賞与金	27
監査役賞与金	3
別途積立金	2,000
次期繰越利益	704

(注) 2005年12月、中間配当206百万円
(1株につき3円)実施

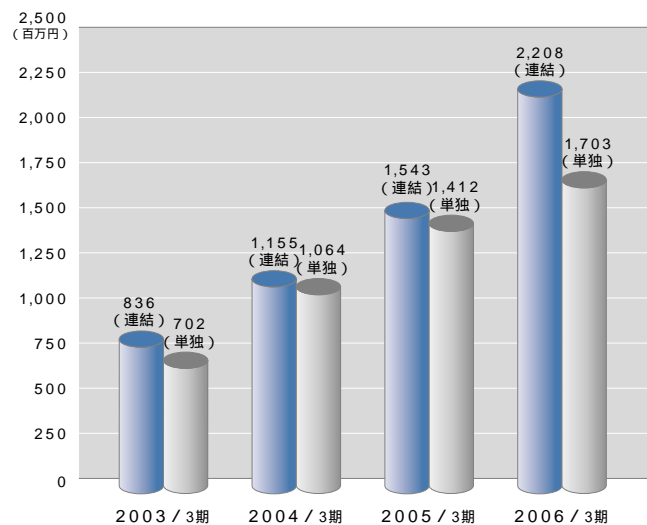
売上高



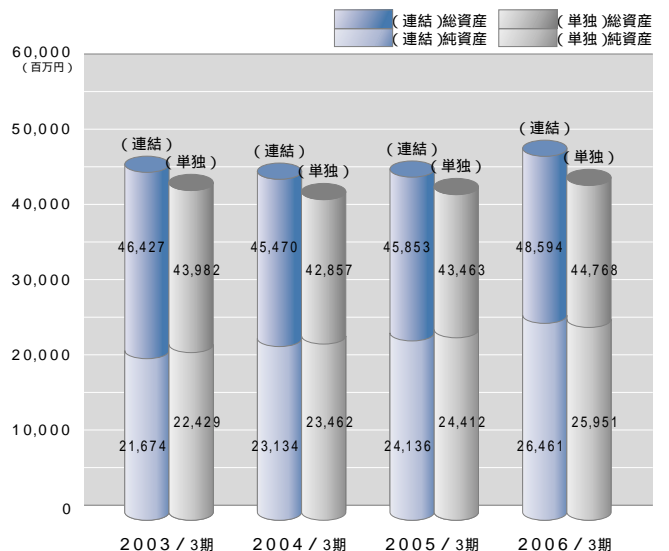
経常利益



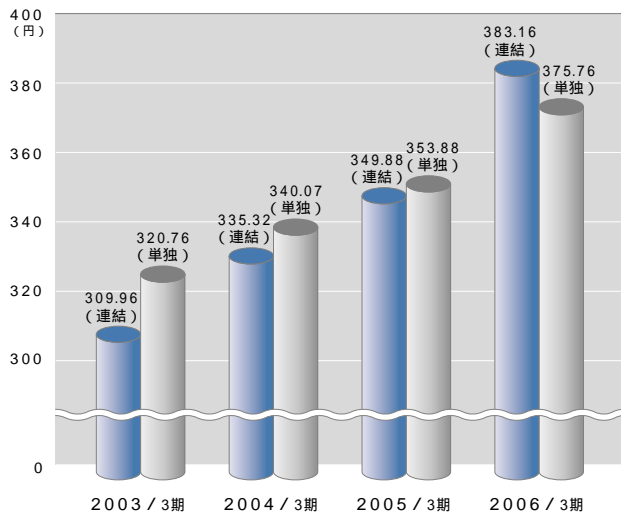
当期純利益



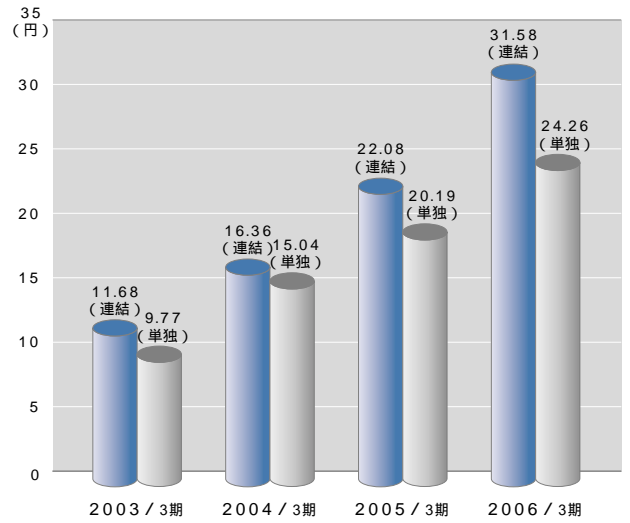
総資産・純資産



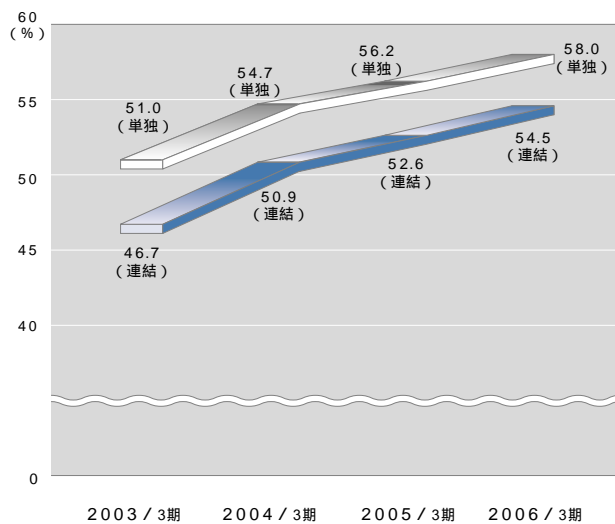
1株当たり純資産額



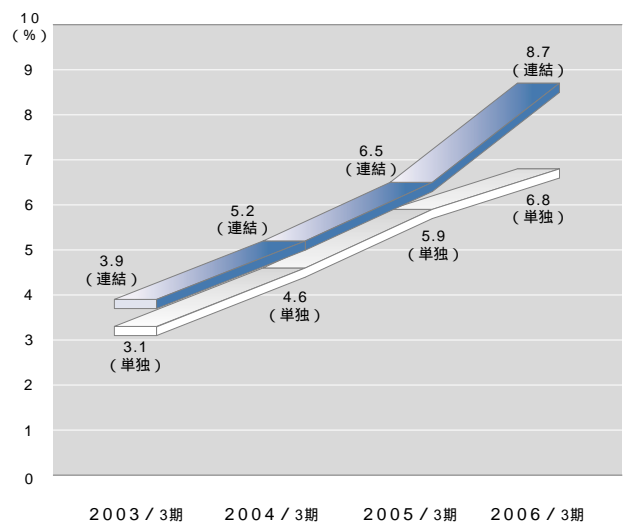
1株当たり当期純利益金額



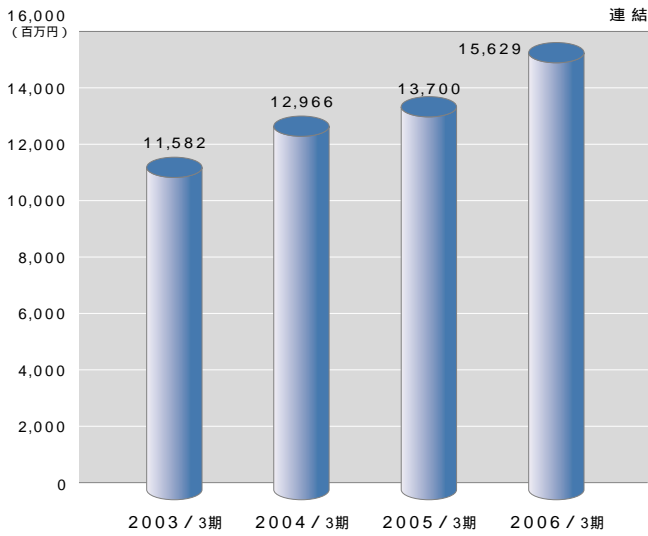
株主資本比率



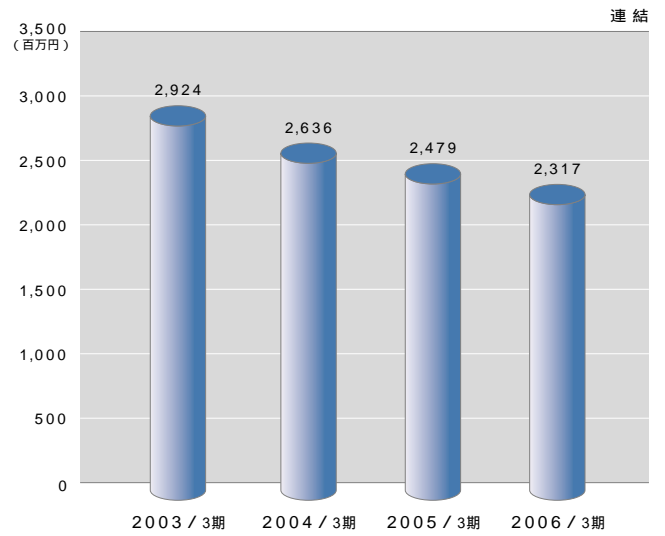
株主資本利益率



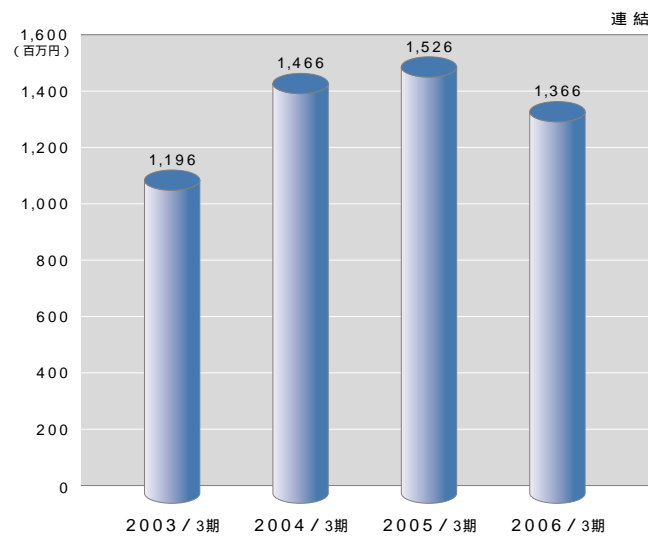
海外売上高 (連結)



減価償却費 (連結)



研究開発費 (連結)



事業所

本社（大阪）

〒541-0041 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
（住友ビル）

TEL.06-6220-8508 FAX.06-6220-8541

本社（東京）

〒102-0073 東京都千代田区九段北1丁目13番5号
（日本地所第1ビル）

TEL.03-3230-8527 FAX.03-3230-8520

研究所

精密化学品研究所（別府工場内）

〒675-0145 兵庫県加古郡播磨町宮西346番地の1

TEL.079-437-2151 FAX.079-437-2635

機能樹脂研究所（姫路工場内）

〒672-8076 兵庫県姫路市飾磨区入船町1番地

TEL.079-235-1305 FAX.079-235-8883

工場

別府工場

〒675-0145 兵庫県加古郡播磨町宮西346番地の1

TEL.079-437-2101 FAX.079-435-2244

面積 250,000㎡ 従業員数 約270名

姫路工場

〒672-8076 兵庫県姫路市飾磨区入船町1番地

TEL.079-235-1301 FAX.079-234-7150

面積 270,000㎡ 従業員数 約200名

千葉工場

〒276-0022 千葉県八千代市上高野1384番地の1

TEL.047-483-0115 FAX.047-485-8841

面積 33,000㎡ 従業員数 約70名

駐在員事務所

デュッセルドルフ駐在員事務所

Immermannstr.11

40210 Düsseldorf, Germany

TEL.211-479940 FAX.211-9430390

ニューヨーク駐在員事務所

335 Madison Avenue, Suite 830, New York, NY

10017, U.S.A.

TEL.212-572-8245 FAX.212-421-1179

連結子会社

Sumitomo Seika Singapore Pte.Ltd.

本社 20 Cecil Street #20-08, Equity Plaza
Singapore 049705

業務内容 高吸水性樹脂の製造・販売

出資比率 80%

ハリマ興産株式会社

本社 兵庫県加古郡播磨町宮西346番地の1

営業所 姫路

業務内容 施設の運転・管理業、人材派遣業

出資比率 100%

セイカエンジニアリング株式会社

本社 兵庫県加古郡播磨町宮西346番地の1

営業所 姫路

業務内容 各種プラント、タンク等の製作

出資比率 100%

フタワ化学品株式会社

本社 大阪市中央区北浜四丁目5番33号（住友ビル）

営業所 大阪、東京

業務内容 各種工業薬品、高圧ガス、合成樹脂などの販売

出資比率 100%

 **住友精化株式会社**

総務人事部（広報）

〒541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33（住友ビル）

TEL.06-6220-8508 FAX.06-6220-8541

<http://www.sumitomoseika.co.jp/>